

令和3年

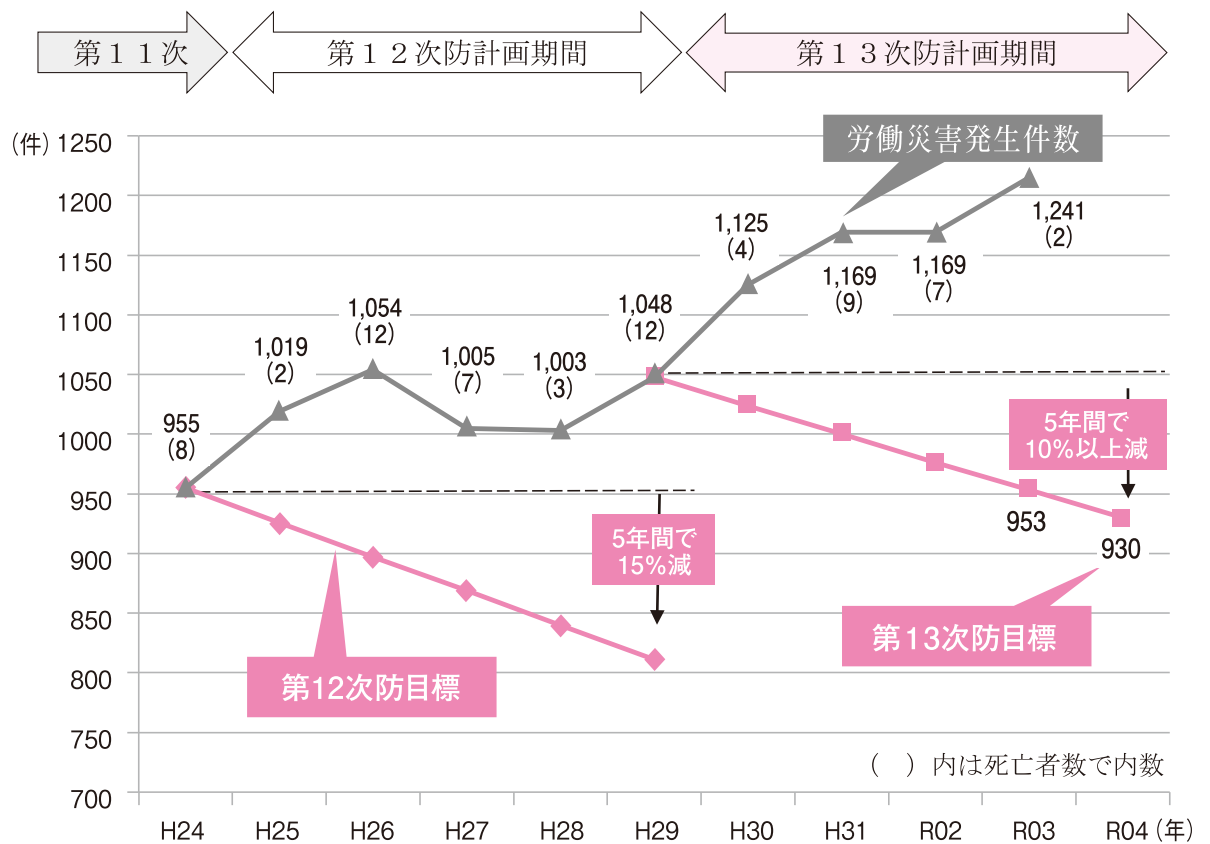
名古屋北署管内労働災害発生状況

休業4日以上^{じんちやく}の死傷労働災害1241件 労働災害死亡者数2人

— 名古屋北労働基準監督署 —

(図表1) 第13次労働災害防止推進計画の数値目標及び進捗率

(名古屋北労働基準監督署)



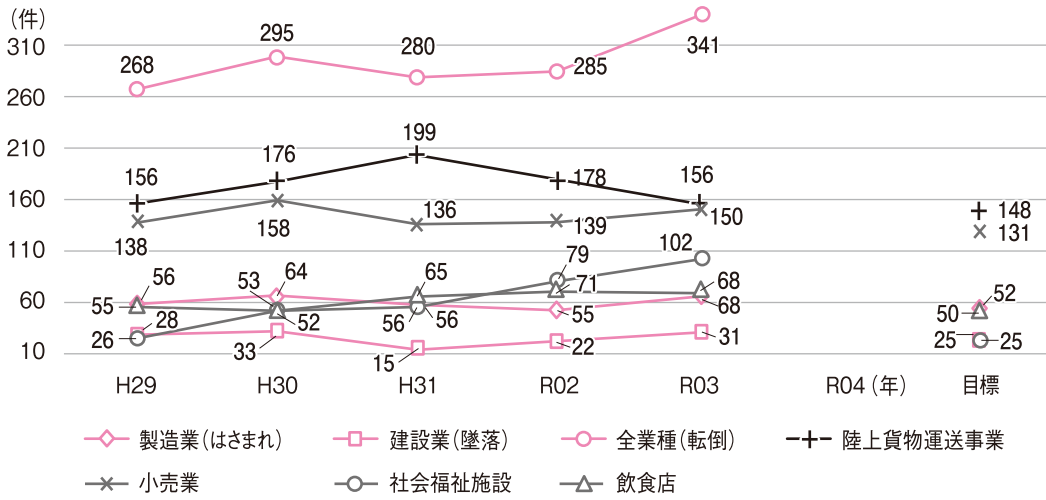
1、第13次労働災害防止推進計画進捗率 (図表1)

(1) 死亡災害発生状況
当署管内(名古屋市中区・北区・東区・守山区・小牧市・春日井市)にて令和3年に発生した労働災害死亡者数は2人であり、昨年7人から5人減少した。

第13次労働災害防止推進計画期間中(令和3年まで)は、22件の死亡災害が発生している。

(2) 死傷労働災害(休業4日以上)の災害発生状況
当署管内にて昨年発生した休業4以上の死傷労働災害は、1241件(内新型コロナウイルス感染症り患80件)で、昨年と比べ、72件の増加となっている。その結果、第13次労働災害防止推進計画の単年目標値との差が昨年の令和2年が193件増であったのに対し、令和3年単年目標値は、953件であり、その差は288件となった。

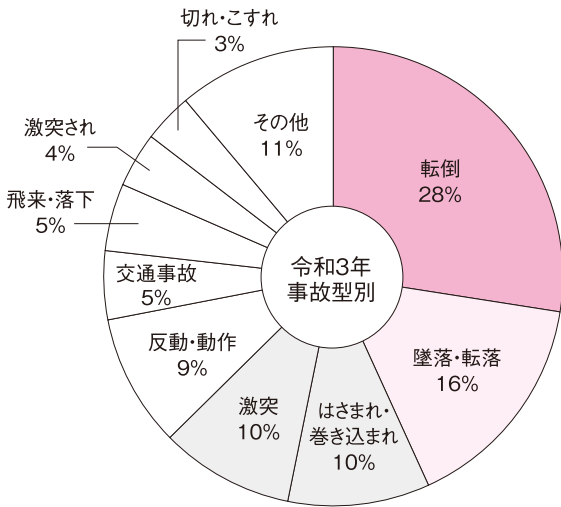
(図表2) 第13次労働災害防止推進計画重点目標



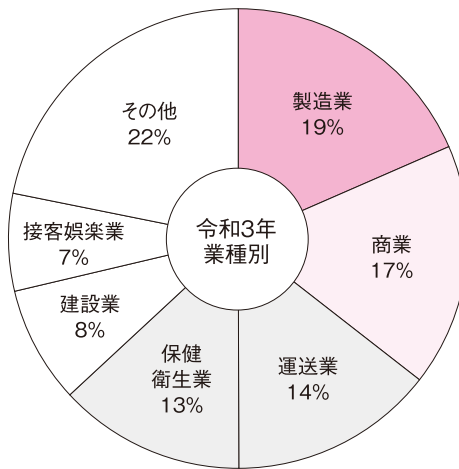
(3)重点とする業種や災害の型等に係る目標の災害発生状況(図表2)

名古屋北畧版の第13次労働災害防止推進計画にて重点とする業種や事故

(図表4)令和3年死傷災害(休業4日以上) 事故の型別



(図表3)令和3年死傷災害(休業4日以上) 業種別



の型については、製造業のはさまれ災害、建設業の墜落災害は、平成29年

と比して10%以上の減少を目標としているが、いずれも増減を繰り返しな

2、令和3年の死傷災害(休業4日以上)にかかる発生傾向

(1)業種別(図表3)
令和3年に発生した労働災害を業種別に見ると製造業19%(前年比1%増)、商業17%(前年比0%)、運送業15%(前年比3%減)となった。なお、この3業種の合計値は当署管内死傷災害の半数を占めている。

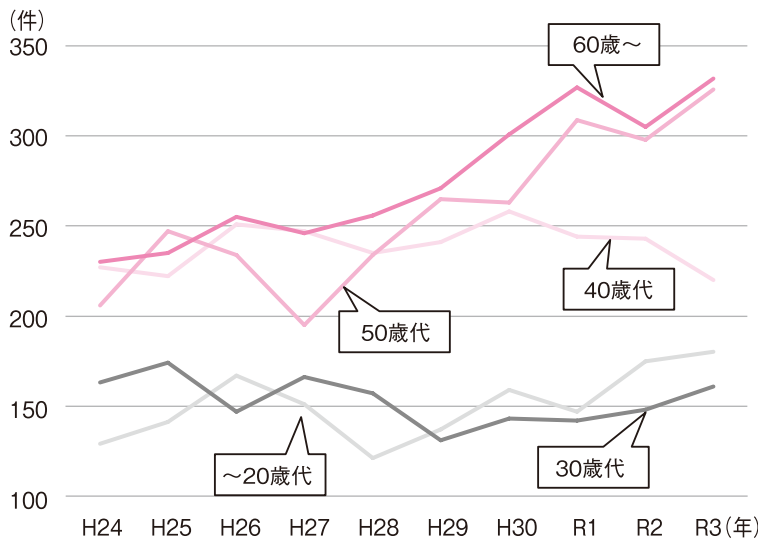
(2)事故の型別(図表4)
事故の型では、転倒が28%と最も多く発生している。このうち4分の1が商業にて発生している。なお、転倒災害の年齢別発生分布を見ると、

から、推移している。転倒災害は、毎年、前年を下回る目標であるが、令和3年は増加し、高年齢労働者の占める割合が高い。

小売業、社会福祉施設、飲食店では、平成29年と比較して5%以上の減少を目標としているが、いずれも増加している。

高齢になるほど発生件数が増加する傾向にあり、転倒災害の約半数が60歳以上で発生している。
 (3)年齢別(図表5)

(図表5) 令和3年死傷災害
 (休業4日以上) 年齢別



3、まとめ

当署管内の死傷災害(休業4日以上)は、1241件となっており、昨年の1169件より増加した。
 なかでも、転倒災害が増加しており、高齢者が占める割合が多くなっている実態があり「エイジフレンドリーガイドラ

イン」に基づく措置のほか、高齢者が従事する作業を把握したうえで、より踏み込んだ管理が必要です。

また、労働人口のさらなる高齢化はもとより労働人口自体のさらなる減少、これに伴う外国人労働者の受け入れなど、次年度以降も引き続き労働環境が変化していくことが想定されます。

そのような労働環境の変化を受け入れる必要があるなか、当署としても、管内事業場にて論理的な安全管理が行われるよう働きかけを行います。

第13次労働災害防止推進計画の最終年となる令和4年度も引き続き、愛知労働局が提唱する「論理的な安全管理の定着・推進」を基本方針、「危なさと向き合おう」をスローガンとし、管内事業場において、リスクアセスメントを中核に据えた組織的、論理的な安全管理が行われることを目指していきます。

第81回
 「全国産業安全衛生大会
 in 福岡」10月に開催

中央労働災害防止協会

第81回(令和4年度)全国産業安全衛生大会は、福岡県福岡市で、10月19日(水)から21日(金)までの3日間開催いたします。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

【開催期間】

令和4年10月19日(水) 21日(金)
 【会場】
 ◆総合集会(10月19日) マリンメッセ福岡
 ◆分科会(10月20日、21日) 福岡国際会議場ほか福岡市内各会場



来年(令和5年度)の全国産業安全衛生大会は、9月に「愛知」で開催されます。研究発表の募集は本年10月頃スタートします。地元開催の機会にぜひご応募下さい!